



2026 年 2 月 19 日 (木) 第 10 回例会

【対面式 ZOOM ハイブリッド例会】

会 長 時 間



みなさんこんばんは。

まずは、グループ 7 広島西ロータリークラブの宍戸さん、グループ 9 因島ロータリークラブの岡野さん、グループ 10 福山ロータリークラブの北村さん、そして、グループ 12 東城ロータリークラブの佐藤さん、ようこそお越し下さいました。どうかゆっくりと例会をお楽しみ下さい。

宍戸さんの広島西ロータリークラブは僕が以前所属していたクラブです。宍戸さんには当クラブのチャーターナイトにもご出席いただきましたね。岡野さんのグループ 9 は、尾道ロータリークラブさんが所属されていますよね。次年度ですが 9 月 1 日に尾道ロータリーさんで卓話しますので、よろしく願いいたします。北村さんの福山ロータリークラブさんは、晝田会長は R L I のフェシリテーター仲間です。お兄様の晝田真三パストガバナーとは仕事で一緒にしたことがありますし、松本茂太郎パストガバナーには色々ご指導いただいておりますので、とてもご縁があるクラブです。佐藤さんのところは、三次中央ロータリークラブの小根森ガバナーノミニーがいらっしゃるグループですね。色々ご準備でお忙しいことと思いますが、期待しております。

さて、僕は会長時間の最初にいつも申し上げているのでそろそろ覚えていただきましたでしょうか。ロータリーは自己教育運動です。

1932 年の手続要覧に記載してあるのですが、ロータリアンとは、まずは自己教育を行って、「人に優しくする心」、すなわち、「奉仕の心」を養い、それを世の中に放流する人のことを言います。そして、その自己教育を支援し、会員がロータリアンとして、人として、職業人として、成長するのを助けるのが、ロータリークラブの責務であり、ロータリークラブの本質です。このことは、ロータリーの友 2 月号に寄港させていただきましたので、ぜひお読みください。

近年、ロータリーが行う対外的な奉仕活動だけが大きに取り上げられ、その結果、ロータリアンであっても、ロータリーとは奉仕団体だという大きな誤解をする方々が多いことは、20 年も前から、当時の R I 会長でさえ嘆いています。もちろん、ロータリーは奉仕を行う団体ですが、それはロータリーの一面に過ぎず、本質は別の所、すなわち、ロータリアンが自己教育を行うところにあります。だから、ロータリーはただの奉仕団体ではないわけです。

皆さん、私たちロータリアンはチェンジメーカーです。つまり、対外的な奉仕はとても大切です。これからも、私たちは、個人として、そしてクラブとして、対外的な奉仕を積極的に行い、さらに、R I が提唱する国際的で大規模な奉仕にもできる限り協力していきましょう。

さて、今日は、ちょっとロータリーの歴史をふり返って、是非皆さんに知っておいていただきたいことをお伝えします。

まず、ロータリー思想に大きな影響を与えたアメリカの哲学である「プラグマティズム」についてです。もしかしたら、名前は聞いたことがあるかもしれませんね。哲学と言っても、余り難しく考えなくても大丈夫です。軽い気持ちでお聴き下さい。

以前申し上げましたが、アメリカという国は基本的に今でもキリスト教国です。ですから、キリスト教の教義の影響を受けたアメリカ人は奉仕の実践が得意です。そのアメリカのロータリアンの奉仕のやり方に多大な影響を与えたのが、「プラグマティズム」です。

ロータリーが創設される少し前の時代、思想の世界では、ヨーロッパのデカルトやカントが主流でしたが、その頃、アメリカで新しく生まれたのが「プラグマティズム」です。これは簡単に言えば「実利主義」です。考えるだけでは価値はない、実利をとる行動だけが価値を持つ、つまり、理論より実践が大事である、と考えるものです。これはロータリーの奉仕の基本的考え方であり、また、現在のRIの奉仕を見ているとまさに生かされている考え方です。

「決議 23-34」に、「奉仕するものは行動しなければならない。従って、ロータリーとは単なる心構えのことをいうのではなく、また、ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的な行動に表さなければならない。そして、ロータリアン個人もロータリークラブも、奉仕の理論を実践に移さなければならない。」と書かれています。これはまさに「プラグマティズム」の考え方です。

また、ロータリーの奉仕は個人奉仕から始まりましたが、「決議 23-34」で団体奉仕が認められました。これは、個人でやるより団体でやった方が効果が高いからです。さらに、近年RIが奉仕を主導するようになったのは、やはり、クラブ単位でやるよりも世界レベルでやる方が効果が高いからです。このように、アメリカで創設され、アメリカに本拠地を持つロータリーにとっては、実利を重んじる「プラグマティズム」の影響を受けて発展したことは極めて自然なことだと言えます。

しかし、ここで私たちには自覚が必要だと思います。以前から申し上げているように、ロータリーは自己教育運動です。このロータリーの本質とも言える哲学が、伝承されにくくなっていることには注意が必要です。「プラグマティズム」の影響を受けた大規模で効果の高い団体奉仕も大事ですが、その裏付けとなる、自己教育運動という本質をしっかりと受け継ぎ、学び、伝承しなければならない。これは一人一人のロータリアンの責務です。

近年のRIは理事会で色々な決議をしています。たとえば、「いつまでも1923年の考えではいけない」。これは「決議 23-34」はもういらぬということですね。あるいは、「過去は忘れて未来の夢を語ろう」などですが、これらはロータリーの存在理由でもあったロータリー哲学を捨てるような決議です。手こぎボートは後ろ向きにこぎます。同じように、未来は常に過去を見ながら築かれます。RIの動きを理解しながらも異論は唱え、ロータリアンとしてロータリー哲学という歴史を大事にしなければなりません。

さて、もうひとつ歴史の中に浮かび上がるロータリーの姿をご紹介します。それは、資本主義とロータリーという関係についてです。

ご存じの通り、ロータリーはシカゴロータリークラブが設立された1905年に始まりました。その40年くらい前、1861年から65年にかけて、アメリカでは南北戦争が勃発しました。この、国を二分する混乱のすぐ後、それまでめざましい発展をしてきた資本主義経済は、アメリカで「独占」という段階に入りました。持つ者と持たない者との格差、持つ者は更に裕福になり、持たない者はさらに貧乏になる。この悪循環が社会の大きな問題となっていました。

また、当時は、ヨーロッパで主流だった古い思想に変わるものとして、ダーウィンの「進化論」とマルクスの「社会主義」が台頭してきましたが、資本主義の発展途上にあったアメリカでは、当然のことながら社会主義思想は受け入れられず、「進化論」が受け入れられました。それは、適者生存、すなわち、強い者だけが生き残ると唱える「進化論」が、当時のアメリカ資本主義の「独占」という状態を裏付ける理論

だったからです。そして、この「進化論」は、単に生物学の理論だったのですが、生物学の分野を超えてアメリカの社会全体に取り入れられてしまい、アメリカ社会全体が「適者生存」を肯定する世の中になっていったわけです。

そんなわけで、1905年、ロータリー創設の年、シカゴに降り立った若い弁護士ポール・ハリスが見た景色は、「適者生存」が肯定された資本主義経済のなれの果てでした。酒、賭博で乱れ、道徳レベルは低く、利口な者が弱者を蹴落として一攫千金を狙う。そして一握りの資本家が政治経済の主導権を握り私腹を肥やす。商業的な倫理は全く存在しない。まさに資本主義が欠陥を露呈した時代です。

このようなシカゴでロータリーを創設したポール・ハリスが、ふるさとニューイングランドで養った、友愛と相互扶助の精神をロータリーの基礎にしたのは、もっともなことだったと思います。いわばロータリーは、資本主義のほころびで狂った当時のアメリカにとって、大きな救済だったと言えます。実際、1929年に始まった世界大恐慌の中で、ロータリアンの会社は倒産しなかったと言われていました。

先程申し上げた「プラグマティズム」の影響で、とにかく効果が高い大規模奉仕の実践を重視するようになったロータリーですが、そのロータリーの先達が何十年もかけて確立させ、資本主義の矛盾を救済したロータリー思想は、依然として「適者生存」を基本とする、私たちが生きている、この資本主義社会においても必ず救済となります。奉仕の実践や奉仕の規模だけに注力するのではなく、自己教育によってロータリー思想をしっかりと身につけ、人に優しくする心をエネルギーにして奉仕を実践することこそが、草の根的に世の中を救済するロータリアンの矜持ではないかと思えます。

以上、今日は少し長くなりましたが、ロータリーの奉仕のやり方に大きな影響を及ぼした「プラグマティズム」と、ロータリーの哲学が、資本主義の矛盾がはびこった時代の救済となったというお話をいたしました。

皆さん、今年度は我がクラブの初年度で、皆さんの殆どは、行ってみれば、まっさらのロータリアンです。どうか、ロータリーの本質をしっかりと認識した上で、一歩ずつ見識を広めていただき、自己教育に励んでいただきたいと思えます。

以上で今日の会長時間を終わります。

例会次第

- ・開会点鐘
- ・ロータリーソングの唱和 「奉仕の理想」
- ・来訪ロータリアン及び来客の紹介
 - 東城 RC 佐藤友則さん（会長）
 - 福山 RC 北村太郎さん
 - 因島 RC 岡野修身さん
 - 広島西 RC 宍戸剛さん
- ・会長時間
- ・幹事報告
- ・出席報告
- ・委員会報告
- ・例会プログラム

「次年度準備の進捗状況について」



- ・閉会点鐘

幹事報告

- ・次年度準備のための第1回委員会をまだ開催されていない、戦略計画委員会、広報委員会の委員長は、早急に委員会を開催して、2月26日までに事務局まで事業報告書案をメールして下さい。
- ・3月19日(木)第2例会並び懇親会の出欠席の意思表示をされてない人は、受信メールをご確認の上、至急「調整さん」に入力をお願いします。昨日現在で未入力の方は、拜郷さんと北田さんです。
- ・中村毅さんが、2月を以て退会されますのでお知らせします。中村さんは脳梗塞で入院後、リハビリを続けていらっしゃいましたが、結果が芳しくないとのこと。退会は致し方ないですが、皆さんでお早い快復を祈りたいと思います。
- ・ロータリーの友2月号が届いていますのでまだ手元にない方はお持ち帰りください。

出席報告

本日の例会 参加会員数： 22名中16名（うちオンライン参加者1名）【MU含まない出席率76%】
来賓・来客： 4名（うちオンライン参加者0名）

委員会報告

- ・奉仕プロジェクト委員会：本日の理事会にて、会員の杉岡英明さんが代表理事を務める日本発達支援サッカー協会が主催する、発達障がいを持つ子どもたちを対象にしたサッカー大会である「第7回 ジーニアスカップ」を応援することを決定しました。

同好会報告

- ・五紅会： 3/5(木)にフォレストヒルズゴルフ&リゾートにてゴルフ同好会コンペを開催します。

スマイルBOX

- ・佐藤友則(東城RC)さん1,000円。(本日はよろしく願いいたします。新しいクラブの風を感じて楽しみたいと思っています。)
- ・北村太郎さん(福山RC)1,000円(本日はよろしく願いいたします。初めてのメイクアップで楽しみにしています。)
- ・岡野修身さん(因島RC)1,000円(本日はよろしく願いいたします。皆様とのご縁をいただきありがとうございます。)
- ・宍戸剛さん(広島西RC)1,000円(諏訪さんとの友情に。)

皆さんありがとうございました！

プログラム

「次年度準備の進捗状況について」

次年度準備について話す機会としました。委員会ごとに、第1回次年度委員会の開催状況と、事業計画策定の進捗状況を報告していただき、中間報告としました。

